

第29回（令和4年度）千葉県建築文化賞募集要領

趣 旨

千葉県建築文化賞は、まちなみや周辺の景観との調和、安全で快適な建築空間の創出等において先導的で質の高い優れた建築物を表彰することにより、建築文化、居住環境に対する県民の意識を高め、うるおいとやすらぎに満ちた快適なまちづくりを進めていくことを目的に実施するものです。

対象建築物

【募集部門】

募集部門	● 一般建築物の部 右記以外のもの	● 住宅の部 専用住宅、併用住宅（住宅部分が1/2を超えるもの） 集合住宅、別荘等
------	----------------------	---

【募集要件】 下記の(1)又は(2)を満たす建築物又は建築物群（まちなみ）とする。

(1)	・平成29年4月1日から令和4年3月31日までに、千葉県内において工事※が完了したもの ・現在良好に管理され、使用されているもの
(2)	・千葉県内の既存の建築物又は建築物群（まちなみ）であって、3年以上の継続的・体系的な景観づくり活動により、景観の向上が図られているもの

※新築だけでなく、増改築、リフォーム、耐震改修を行った建築物も対象です。

※千葉県観光に関連する施設、県産品を活用した建築物のご応募も歓迎します。

（県産品とは、千葉県産木材である「サンプスギ」をはじめとして、千葉県の魅力を高めている、又は高める可能性をもっている様々な地場産品や製品をいいます）

【適格確認】 応募にあたり下記に該当するものは表彰対象となりません。ご注意ください。

- ・設計者又は施工者が表彰の前年度以降に建設業法の監督処分及び建築士法に基づく処分等を受けているもの。
- ・千葉県建築文化賞検討会議の委員、その配偶者又はその親族（2親等以内）が建築主、活動団体の役員、設計者及び施工者であるもの。（建築主、設計者及び施工者が法人である場合で、代表者等が同様であるものを含む。）
- ・建築物（群）が建築基準法などの諸法令に適合していないもの。
- ・建築物（群）が近隣等と紛争を生じているもの。
- ・建築主、設計者、施工者等の関係者が同意しておらず、対象作品の内外部の現地調査を実施できないもの。

応募・推薦の方法

- ・自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。
- ・応募用紙（裏面）に必要事項を記入の上、写真等を添付して提出してください。なお、提出部数は1部となります。
- ・応募用紙は千葉県ホームページからダウンロードできます。



【千葉県建築文化賞HP】

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenchiku/boshuu/2022/bunkashou.html>

【留意事項】

- ・提出された書類の返却はできません。
- ・ご希望により、表彰作品の応募者（推薦者）名を作品集に掲載できます。
- ・参考として、設計主旨や図面等の説明資料を添付してもかまいません。（A4判又はA3判片袖折り5枚程度）
- ・おおむね3年以上の景観づくり活動により応募される場合は、活動内容がわかる資料を添付してください。

■ 募 集 期 間

令和4年7月1日（金）～9月30日（金）

※ 持参の場合……平日（月～金）の9時から17時までの間にお持ちください。

※ 郵送の場合……令和4年9月30日（金）までの消印が有効となります。

■ 応募・問合せ先

〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1

千葉県庁 県土整備部 都市整備局 建築指導課 管理調整班

電話 043(223)3180 FAX 043(225)0913

■ 賞 ・ 表 彰

- ・ 一般建築物、住宅両部門で合計9点以内を『最優秀賞』、『優秀賞』、『入賞』のいずれかに表彰。
- ・ 受賞された建築物の建築主、活動団体等、設計者及び施工者に対し、千葉県知事が賞状等を授与します。
- ・ 令和5年3月頃に、表彰作品の発表及び表彰式を行う予定です。

■ 選 考 の 基 準

次の事項を選考の基準とし、総合的に審査します。

- デザイン性に優れていること
- まちなみや周辺の景観と調和がとれていること
- 安全で快適な建築空間を創出していること
- 環境負荷の低減に配慮していること
- 防災への配慮がなされていること
- 施工上優れていること
- その他、独自の取組や提案がなされていること

■ 選 考 の 方 法

応募書類により一次選考を行い、対象作品内外部の現地調査の結果をもとに最終選考を行います。

※今後の新型コロナウイルス感染症等の影響により、当初の予定から変更になる可能性があります。

※現地調査にあたっては実施方法等、追って対象作品の応募者に通知する予定です。

千葉県建築文化賞検討会議委員

委員長	北原理雄	千葉大学名誉教授	(敬称略・委員は五十音順)
副委員長	岩村和夫	東京都市大学名誉教授	
委員	岡部明子	東京大学大学院教授	
委員	加藤未佳	日本大学准教授	
委員	竹江文章	一般社団法人千葉県建築士会会長	
委員	藤本香	建築士、千葉大学特任教授	

過去3年の受賞作品

第26回建築文化賞		凡例：◎最優秀賞 ○優秀賞 ●入賞
一般建築物の部	◎さわら町屋館(上川岸小公園) ○犬吠テラステラス ○宮下どろんこ公園 つむぎ×TSUMUGICAFE+子育て支援センターちきんえっぐ ●ニッケコルトンプラザ ツムグテラス ●moto.8 ●One Table	
住宅の部	◎椿庵 ○山武 野口邸 ●「地域とつながる小さな街並み」	
第27回建築文化賞		凡例：◎最優秀賞 ○優秀賞 ●入賞
一般建築物の部	◎竹中技術研究所リニューアルプロジェクト ○丘の幼稚園(まこと第2幼稚園) ○高円宮記念 JFA 夢フィールド ○新柏クリニック糖尿病みらい ○千葉商船ビル ○栗源第一薪炭供給所(1K) ●むつざわスマートウェルネスタウン・道の駅・つどいの郷 ●銚子駅舎	
住宅の部	●車窓のほっこりする家～松波の家#2	
第28回建築文化賞		凡例：◎最優秀賞 ○優秀賞 ●入賞
一般建築物の部	◎ZOZO本社屋 ○香取市佐原チャレンジショップ(上仲町第一施設) ○千葉ウシノヒロバ ●いちはらライフアンドワークコミッションオフィス	
住宅の部	◎東我孫子の家 ○古民家あらやし ○Spiral and Parallelogram/クレバスノイエ ●唯・巧・居の家	

千葉県建築文化賞の実績(応募点数・受賞作品数)一覧

回数(年度)	応募総数	受賞作品(建築文化奨励賞含む。)
1～23回計(H6～H28)	1,872	188

回数	年度	応募総数		部門	建築文化賞			
		部門別内訳			最優秀賞	優秀賞	入賞	合計
24	H29	81	56	一般建築物の部	1	3	2	6
			25	住宅の部	0	2	1	3
25	H30	75	37	一般建築物の部	0	2	3	5
			38	住宅の部	1	2	1	4
26	R1	67	37	一般建築物の部	1	2	3	6
			30	住宅の部	1	1	1	3
27	R2	59	45	一般建築物の部	1	5	2	8
			14	住宅の部	0	0	1	1
28	R3	53	27	一般建築物の部	1	2	1	4
			26	住宅の部	1	2	1	4
合計		335			7	21	16	44

※ 第21回(平成26年度)より「建築文化賞」及び「建築文化奨励賞」から「最優秀賞」、「優秀賞」及び「入賞」へと賞の区分を再編。

主催:千葉県

共催:(一社)千葉県建築士会

後援:(公社)日本建築家協会関東甲信越支部千葉地域会、(公社)千葉県建築士事務所協会、

(一社)日本建築構造技術者協会関東甲信越支部 JSCA 千葉、

(一社)千葉県設備設計事務所協会、(一社)日本建築学会関東支部千葉支所

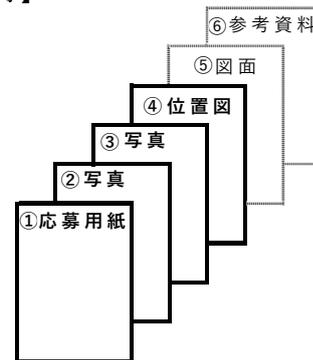
第29回千葉県建築文化賞応募(推薦)用紙				※この枠内は記入しないでください			
建築物(群)の名称 ふりがな				受付印			
建築物(群)所在地		〒		年月日			
ふりがな 建築主 又は 活動団体	(団体名)	(連絡担当者)		番 号			
	(氏名)	住 所	〒				
適格確認 (該当するものに必ず☑チェックしてください。) 募集要領に記載された適格確認の各項目について <input type="checkbox"/> 全項目に該当しない <input type="checkbox"/> 該当あり							
ふりがな 応募者 (推薦者)	(団体名)	(連絡担当者)					
	(氏名)	住 所	電話番号 () -		e-mail		
応 募 部 門	<input type="checkbox"/> 一般建築物の部 <input type="checkbox"/> 住宅の部 * 複合施設等、両部門にまたがる場合は、主 用途に応じてどちらかの部門に☑チェッ してください。			該当するものに☑チェックしてください。(複数可) <input type="checkbox"/> デザイン性に優れている <input type="checkbox"/> まちなみや周辺の景観と調和がとれている <input type="checkbox"/> 安全で快適な建築空間を創出している <input type="checkbox"/> 環境負荷の低減に配慮している <input type="checkbox"/> 防災への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 施工上優れている <input type="checkbox"/> その他、独自の取組や提案がなされている			
	応募(推薦)理由 (建築物(群)の特徴や創意工夫がされている事項等を含め説明してください。別紙不可。)						
建築物(群)の概要 (該当するものに☑チェックしてください。)							
用 途	一般建築物の部	<input type="checkbox"/> 店舗 <input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 保育園 <input type="checkbox"/> 福祉施設 <input type="checkbox"/> 公共施設 <input type="checkbox"/> 建築群(街並み) (年 月活動開始) <input type="checkbox"/> その他()					
	住宅の部	<input type="checkbox"/> 専用住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅(戸) <input type="checkbox"/> その他()					
構 造	造		規 模	地上()階		地下()階	
敷地面積	. m ²	工事期間	(起工)H・R 年 月~(竣工)H・R 年 月 (か月)				
建築面積	. m ²	確認済証	[H・R 年 月 日/ 第 号]・不 要※				
延べ面積	. m ²	検査済証	[H・R 年 月 日/ 第 号]・不 要※				
設 計 者	ふりがな 事務所名等				事務所登録日 H・R 年 月 日 登録番号		
	所在地	〒					
	連絡担当者	部署等 職・氏名		電話番号 () -			
施 工 者	ふりがな 会社名等				建設業許可日 H・R 年 月 日 許可番号		
	所在地	〒					
	連絡担当者	部署等 職・氏名		電話番号 () -			
○共同企業体等により設計者及び施工者が複数携わっている場合、別紙にて上記項目を記入していただき添付をお願いいたします。							
備 考	(※確認済証・検査済証が「不要」の場合はこちらに理由をお書きください。)						

写真貼付欄①

【応募書類】

- ① 千葉県建築文化賞応募(推薦)用紙
 - ② 作品写真 2枚程度
 - ③ 作品写真 2枚程度
 - ④ 位置図
- (以下任意) ——
- ⑤ 図面
 - ⑥ 参考資料

【例】



◇参考として、設計主旨や図面等の説明資料を添付してもかまいません。
(A4判又はA3判片袖折り5枚程度)

◇建築物(群)の位置図を添付お願いいたします。

◇おおむね3年以上の景観づくり活動により応募される場合は、
活動内容がわかる資料を添付してください。

◇提出された応募用紙(写真を含む)は返却できません。
御了承ください。

【※】写真に関する留意事項

- ◎カラー写真(プリント・コピーも可)をこちらの用紙(写真貼付欄①②)に
4枚程度貼り付けしてください。
なお、別紙(A4用紙2枚)でも構いません。
- ◎写真のトリミングや縦横の配置を工夫し、自由にレイアウト
してください。
- ◎建築物の写真を選ぶときは、次のようなことに配慮してください。
 - ①外観の全体がわかるような写真(例:南側からの全景)
 - ②応募(推薦)理由が説明できるような写真
 - ③その他、特徴を説明するために適当な写真
(例:新しい工法の採用)
- ◎各写真には、撮影の意図がわかるような題名を付けてください。
- ◎余白などに簡単な写真説明を書き加えてください。
(コピーの切り貼り等も可)
説明書きは写真にかかってもかまいません。

写真貼付欄②